

分類	質問	町田市回答
事業全体	鶴川駅周辺再整備事業の各事業費について伺いたい。	設計が完了している3つの事業について説明します。 鶴川駅北口広場整備事業は約44.1億円、鶴川駅南土地地区画整理事業は約60.8億円、鶴川駅南北自由通路整備事業は約28億円を想定しています。
	街づくり方針に「にぎわいとみどりの都市拠点」とあるが、緑のコンセプトはどういうものか。	鶴川駅周辺には北側に香山緑地があり、南側に鶴見川や、川崎市の岡上地区の緑があります。これらの自然環境を感じられるようなまちづくりを目指しています。
	緑化がどうなるのか不安。災害時の対応はどのように考えているのか。5年後の駅の環境をどのように考えているのか。	緑や災害、環境への配慮については、具体的な事業ごとの計画に合わせて検討します。
鶴川駅北口広場整備事業	鶴川駅北口の一般駐車場は今後どうなるのか。一般車は何台くらい置けるのか。	小田急電鉄が北口広場の東側に立体駐車場及び駐輪場を計画しています。 台数については検討中です。
	駐車場はいつ頃から使えるのか。	駅北側周辺では、様々な工事を予定しており、具体的な時期は未定です。 今後、決まり次第お知らせします。
	2024年から仮の交通広場を利用することとなるが、バスの降車場から改札口までは、芝溝街道沿いの横断歩道を渡ることになり、迂回しなければならない。迂回することのないように、仮設の横断歩道橋をつくり直線的に改札口へ行けるように出来ないのか。	仮設の横断歩道橋の設置については、北口広場の工事を行っているためスペースがとれず設置は困難です。 早期に工事の完了ができるように進めますので、ご不便をおかけいたしますがご協力をお願いします。
	北口について、現在と将来の重ね図がないと一般市民はどう変わるか分からない。歩行者動線が変わることで、歩行者が電車に乗るまでに何分かかかるようになるのか。	駅周辺のまちの変化を説明できる資料を今後作成します。 電車に乗るまでの時間については、確認して今後お伝えします。
	北口の駅前にあるモニュメントや大きな木はどうなるのか。	現在の駅前広場については、商業機能の誘導を図る予定です。
鶴川駅南北自由通路整備事業	自由通路と橋上化する駅について、エスカレーターとエレベーターの位置を教えてください。	北口については、自由通路を出た北側にエレベーターとエスカレーターを設置するのとあわせて、バス降車場付近にエレベーターを設置する予定です。 南口については、自由通路を出たところにエレベーターを設置し、東側方面に向かうエスカレーターを設置する予定です。 駅舎については、上下のホームにそれぞれエレベーターとエスカレーターを設置する予定です。
	現在、鶴川駅の連絡通路から富士山が見えるが、新しい駅でも富士山が見えるのか。	富士山が見えるかどうかの検証はしておりませんが、外壁はガラス張りにし、周辺や遠くの自然を感じられるよう、設計しています。
鶴川1号踏切拡幅改良事業	鶴川1号踏切について、将来的に立体化の計画はあるのか。	立体化の計画はありません。 鶴川1号踏切については、既存北側の6m道路と将来土地地区画整理事業でつくる南側の6m道路に合わせて、踏切を6mに拡幅整備します。
	2号踏切が斜めになっていて危険な状態である。直線にしてもらいたい。	現状が安全であるとは認識しておりません。今後どのようなことができるか検討します。
その他	大正橋にいく市道鶴川203号線の道路幅員は6mになるのか。	道路幅員は4mに拡幅する計画です。
	前回の説明会において、小田急電鉄から鶴川駅の改良に伴い急行停車化する予定はないとのことであった。これについて、町田市の考えを聞きたい。	急行停車化をあきらめているわけではありません。コロナ禍で乗降客数も減り、今後人口減少も考えられるため、町田市としてはまず、今回の街づくりをしっかりと進めて小田急電鉄と引き続き協議していきたいと考えています。
	線路が4線化しなくても、乗降客数が増えれば急行停車の可能性はあるのか。	街づくりを行って減少している乗降客数を回復していく、伸ばしていくことが急行停車駅につながっていくと考えています。
	橋上駅舎化や自由通路の費用に関する町田市と小田急電鉄との関係性も確認したい。	橋上駅舎化・自由通路の費用負担については、小田急電鉄と協議中です。
	香山緑地は市民に開放するのか。	2024年度に整備が完了し、市民の皆さまに開放する予定です。